

News Release

プルデンシャル生命保険株式会社

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-13-10 プルデンシャルタワー
<http://www.prudential.co.jp>



2005 年 10 月 4 日

プルデンシャル生命保険株式会社

首都圏に新たに 3 支社開設

和歌山、長崎にも同時に

プルデンシャル生命保険株式会社（本社 東京都千代田区永田町、代表取締役社長兼最高執行責任者 三森裕）は本日、首都圏に新たに 3 支社（大宮、上野、川崎）を開設、ほかに和歌山、長崎にそれぞれ支社を開設、10 月 11 日より本格的な営業を開始すると発表しました。この結果、首都圏（一都三県）における支社数は 28 となり、全国の支社数は合計 80 となりました。（支社の開設順は大宮、上野、川崎、和歌山、長崎の順に 76 番目から 80 番目となります）

首都圏の 3 支社新設は、首都圏における業容の拡充策の一環として採られたもので、死亡保障市場の開拓を営業の中核としている弊社にとって、30 歳代の人口と核家族が増加する首都圏並びにその近郊地域の営業基盤の強化を図る目的があります。

具体的には、①埼玉県内の市場開拓を強化するために、さいたま支社に次ぎ県内で 2 番目の拠点となる大宮支社を、②東京 23 区内でこれまで支社の設置のなかった城東エリアでの市場開拓を推進するために上野支社を、③横浜市に次いで神奈川県下第 2 位の人口の川崎市での市場開拓推進のために川崎支社を——それぞれ開設することを決定いたしました。

一方、和歌山支社は①支社開設前において既に 7,834 件の保有契約（保有契約高は 603 億円）を有しており、既存の支社からでは、サービスの十分な提供が難しくなってきたこと、②（注 1）和歌山県の一人当たりの預貯金が全国で 5 位、近畿地方でみると大阪府に次いで 2 位と高く、一世帯当たりの預貯金をみても全国で 6 位、近畿地域では奈良県に次いで 2 位と潜在的に死亡保障の需要開拓が見込めること、また長崎支社においても①支社開設前において既に約 9,300 件の保有契約（保有契約高は 764 億円）を有しており、既存の支社からでは、サービスの十分な提供が難しくなってきたこと、②（注 2）長崎県の人口は全国 26 位と中位に位置し、且つ人口密度が全国 15 位と九州地域でみると福岡に次いで 2 番目に高いため、効率的に潜在的な死亡保障の需要開拓が見込めること——などの支社開設の理由が挙げられますが、共通している点はいずれの支社においても優秀な管理職（支社長、営業所長）の確保が整ったことが最大の決定要因となりました。

執行役員常務（営業統括本部長）の谷川武士は、「支社開設にあたって、市場の絶対規模やリクルート可能人口などの基準をクリアしているかどうかを重要な判定基準としていますが、最も重要なポイントは、支社の経営を任せられる人材が育成、確保されているかどうかによって決められます。優秀なライフプランナーの採用・育成に傾注し、各支社における営業体制を盤石なものにしたいと考えています。当初は、数名からスタートして、1 年以内に 10 数名程度の陣容を整えたい」と抱負を語っています。

（注 1）（注 2）「保険実務」誌 平成 16 年度都道府県別統計号による